

児童思春期外来のご案内

医療福祉センター倉吉病院では、平成20年10月1日より、「児童思春期外来」を開設いたします。

対象年齢は？

乳幼児から20歳頃までの方が対象です。



治療対象となるのはどんな病気ですか？

発達障害圏

(広汎性障害、アスペルガー障害、自閉症、多動性障害・ADHD、学習障害・LD、知的障害)

神経症圏

(強迫性障害、パニック障害、不安性障害、解離・転換性障害、適応障害)

精神病圏

(統合失調症、気分障害)

摂食障害、睡眠障害、チック障害、行為障害、てんかん、虐待、不登校などです。

どんな検査があるのですか？

症状により異なる場合がありますが、基本的には以下のような検査を行います。

- 1) 血液検査・尿検査
- 2) 画像検査(頭部CT、MRI)
- 3) 脳波検査
- 4) 心理検査



どんな診察があるのですか？

初めに問診表に記入していただき、医師が診察に入ります。必要に応じて上記の検査や心理療法士によるカウンセリングを行います。

できれば、ご本人の生活状況を良くわかっておられる身近な方と一緒に来ていただくと、情報が多くなり診察に役立ちます。

治療はどんなものがありますか？

必要な方には薬物療法やカウンセリングを行います。治療についてはご相談に応じます。学校、児童相談所、教育委員会などの関係機関と連携をとりながら治療を進めていくこともあります。

早期診断・早期治療の重要性

たとえ児童思春期でも、早い段階で治療を始めれば、学校や社会への適応がよくなります。早期診断、治療をお勧めします。どうぞお気軽にお問合せください。

診療担当について

診察時間	(平日)木曜日 13:30~17:30
担当医師	佐藤正弘、坂野真理

*ただし、初診の方は16時までの診察となります。



どうやったら受診できますか？

児童思春期外来は完全予約制となっています。お申込みは直接あるいはお電話でお申込みください。

お問合せ・ご予約はこちらまで。

医療福祉センター倉吉病院

〒682-0023 鳥取県倉吉市山根43

電話(0858)26-1011・26-1088

FAX(0858)26-1339・26-1339

電話受付時間 平日8時30分~17時30分

お子さんにこのような症状(行動)が見られたら・・・

外出せず、引きこもって
家族とも話さない。



性格が変わったようにだ
らしなくなり、昼夜逆転
の生活をしている。

学校に行くのを怖がる、
学校に行けない。



食べないことと
無茶食いを繰り返す。

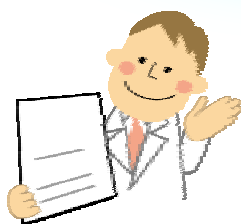


イライラが強く、他人や
自分の体を傷付けてしま
う。(リストカットな
い)

ことばが遅れている。

注意集中がむずかしい。
いつも落ち着きがない、
すぐに忘れてしまう。

口数が減り、ふさぎ込
み、元気がない状態が
続いている。



学力の著しい偏りがある。
(読み・書き・計算などの
一部だけができない)

同じ行動に強くこだわる。
本人が日常生活を送る際に困る癖が
ある。
集団行動ができない。



おなかや頭が痛いと言
えるが、内科で検査し
ても異常がない。



児童思春期外来でご相談ください